



# 本の分類について（ラベルの見方）

図書館には膨大な本があるので、テーマに沿って分類し、配列することで探しやすくしています。岐阜市立図書館の本には、本の所在場所を明らかにするための請求記号（所在記号）が付けられています。（レシートには「背ラベル」と書かれています。）

ここでは、分類について調べてみましょう。



上段：分類記号 下段：図書記号

## 1. 図書館では本をどうやって分類している？

日本の公共図書館の多くは、「日本十進分類法」という本を分けるためのルールにしたがって分類をしています。これは、0・1・2・3・4・5・6・7・8・9の10個の数字を使ってすべての本を分ける方法です。

「日本十進分類表」（一部）は次の表のとおりです。

0 類	<b>総記</b> IT 関係、図書館、読書、百科事典、年鑑、新聞など
1 類	<b>哲学</b> 思想、心理学、心霊、占い、人生訓、宗教など
2 類	<b>歴史、地理</b> 日本史、世界史、皇室、伝記、日本の地理、外国の地理、旅行ガイドなど
3 類	<b>社会科学</b> 政治、行政、法律、経済、財政、統計、社会福祉、教育、風習・マナーなど
4 類	<b>自然科学</b> 数学、物理、化学、天文学、地学、植物、動物、昆虫、魚、鳥、医学など
5 類	<b>技術</b> 工業、公害、建築、機械、自動車、電気、船、金属、手芸、料理、育児など

6 類	<b>産業</b> 農業、園芸、家畜、ペット、林業、水産業、商業、交通、観光など
7 類	<b>芸術、体育など</b> 美術、マンガ、書道、写真、工芸、音楽、演芸、体育、茶道、将棋など
8 類	<b>言語</b> 日本語、外国語、あいさつ、スピーチ、作文、方言、辞典など
9 類	<b>文学</b> 日本文学、外国文学、小説、エッセイ、詩、短歌、俳句、など

10に分けた第一次区分を「類」、さらに100に分けた第二次区分を「綱」、1000に分けた第三次区分を「目」といい、分類の桁数が増えていきます。岐阜市立図書館では、児童用資料は3桁まで、一般資料は4桁（一部は5桁）まで分類されています。

## 2. 岐阜市立図書館だけのルールもある？

日本十進分類法だけでなく、図書館独自のルールで本を分けていることもあります。

岐阜市立図書館では、特別に配架されている資料が一目でわかるように、①先頭にアルファベットをつけた分類記号を使用しています（別置記号といいます）。また、②分類記号をアルファベットに置き換えているものもあります。

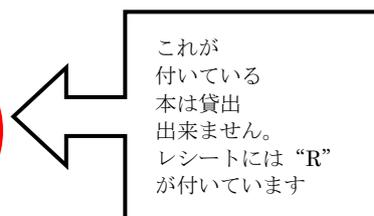
このほかにも見慣れないアルファベットが付いているものがあれば職員にお尋ねください。

### ①の例

- G：郷土資料
- BC：新書・文庫
- A：大型芸術本
- H：障がい者支援資料
- FL：ファッション資料
- L：大活字本
- YA：ヤングアダルト
- C：育児支援
- Y：多読・外国語資料
- R：貸出禁止(参考資料)

### ②の例

- F：日本の小説（明治以降）
- K：紙芝居
- E：絵本
- OE：0・1・2歳向け絵本



お問い合わせ：岐阜市立中央図書館 058-262-2924

HP：<https://g-mediacosmos.jp/lib/>